

# 若者に真実を伝えたい

戦争は絶対してはいけな

い。自分が生きている間にそのことを伝えるため10年前から体験を語っています。私は17歳のとき志願して海軍に入りました。艦載機の整備兵として乗艦した空母・飛龍はミッドウェー海戦(1942年6月)で、米軍機の攻撃を受け3隻の空母とともに沈没しました。私は機銃弾で右脇を負傷しましたが、爆発し炎上する中を奇跡的に助かりまし

元海軍兵の語り部

## 瀧本 邦慶さん

た。

### 国はうそをつく

面会も外出も禁じられた佐世保の病棟で、看護婦が持ってきた新聞を見て驚きました。ミッドウェー海戦で、米空母2隻撃沈、わが2空母、1巡艦に損害」という大本営発表です。国はうそをつくことを初めて思いました。私を軟禁したのは大敗の事実を漏らさないためでした。

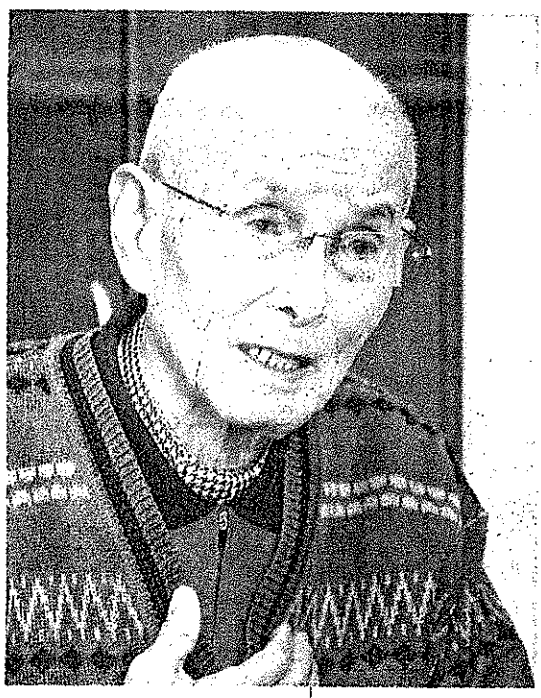
やがて補給基地があった西太平洋のトラック島に配属されました。着いてすぐ米軍機の猛攻を受け艦船、航空機、燃料タンクや港湾施設が破壊されました。制空権も制海権も奪われて補給が絶え、やってきたのが飢餓です。

### 親より先に死ぬ

イモを栽培しても足りない。草を煮て食べました。栄養失調で骨と皮だけになり仲間が次つぎ死んでいく。士官連中には今も怒りが収まりません。多くの兵士が餓死しているのに、士官は応急食に蓄えてあった銀飯(白米)を食べていたのです。私たち下士官が放出を願いだしたら拒否されました。悔しいです。国にだまされました。飢えで野垂れ死ぬことが国のためなのか。兵士が餓死寸前なのに東京の指導者はほったらかし。終戦がもう少し遅かったら私も死んでいました。

戦争とは親より先に子が死ぬことです。命令されて戦場を守るため」と言っている若者をだます。若者の死を食い物に大もうけする者もいます。今の平和憲法は戦争をしない、若者を軍隊にとらないという世界への宣言です。安倍首相が言う9条改憲はこれを百八十度変えるものです。戦争はいったん始めると簡単に終わりません。若者に真実を知ってほしい。語り続けるのは戦争で生き残った私の責任です。

# 許すな 安倍9条改憲



たきもと・くによし 1921年香川生まれ。大阪市在住。昨年7月、脳こうそくで倒れたものの、今年3月に語り部活動を再開。著書に『96歳 元海軍兵の「遺言」』。

聞き手 隅田哲  
写真 峯松進